

[ 成果情報名 ] スイートコーンのトンネル栽培用有望品種「ゴールドラッシュ」  
[ 要約 ] スイートコーンのトンネル栽培における有望品種として、収穫期、発芽率、食味などの面から「ゴールドラッシュ」を選定した。  
[ キーワード ] スイートコーン、トンネル栽培、ゴールドラッシュ  
[ 担当 ] 山梨県総合農業試験場・栽培部・野菜科  
[ 連絡先 ] 電話 0551-28-2496、電子メール sougonoshi@pref.yamanashi.lg.jp  
[ 区分 ] 関東東海北陸農業・野菜  
[ 分類 ] 技術・普及

---

#### [ 背景・ねらい ]

本県のスイートコーン栽培は、初春の多日照条件を生かしたビニールトンネルによる早出し栽培が中心である。

近年、消費者は、甘味が強く、種皮の柔らかい品種を好み、本県でもこれらの特徴を備えた「味来 390」を主力品種として生産を行っている。しかし「味来 390」は、収穫期が遅いことや、発芽率が低いことなど短所も見受けられる。

そこで、本県のトンネル栽培において、「味来 390」と同等以上に良食味で、収穫期が早く、発芽が良い品種の選定を行う。

#### [ 成果の内容・特徴 ]

「ゴールドラッシュ」は、収穫期、発芽率、食味などの面から有望品種と考えられる。その特性は「味来 390」と比較した場合、次のとおりである（表 1）。

- 1 収穫期は 3 日程度早い。
- 2 発芽率は優れ、90%程度である。
- 3 食味、甘味度は同等である。
- 4 収量はやや優り、穂重は 420 ~ 460 g である。
- 5 外観品質は同等で、先端不稔、副房、帯化症の発生は少ない。
- 6 草丈はやや低く、164 ~ 185 cm である。

#### [ 成果の活用面・留意点 ]

1 適応範囲 平坦地の一重トンネル栽培

2 留意点

- ( 1 ) 肥料による発芽障害を避けるため、基肥は 1.5kg / a 程度とし、追肥に重点を置く。
- ( 2 ) 無理な早播きは避け、適期には種する（3月上旬）。
- ( 3 ) 初春の高温期には適切な換気を行いトンネル内の温度を調整する。

[ 具体的データ ]

表1 品種特性

品種	発芽率 (%)	草丈 (cm)	雌穂重 (g)	先端 不稔 (cm)	副房 (%)	帯化症 <sup>z)</sup> (%)	収穫日	収穫当日	
								食味 <sup>y)</sup>	甘味度 <sup>x)</sup>
【平成16年度】									
ゴールドラッシュ	86	185	422	0.0	0	0	6月10日	1.9	10.1
サニーショコラ	61	181	455	0.8	3	0	6月14日	1.7	9.5
きろろ83	61	184	482	0.1	0	0	6月11日	1.8	10.0
きみか	77	175	397	0.0	0	0	6月10日	2.4	9.8
味来早生130	87	172	423	0.3	3	0	6月11日	1.4	9.0
味来390(標) <sup>w)</sup>	43	193	428	0.7	0	0	6月15日	2.0	9.9
甘々娘(参) <sup>v)</sup>	31	157	417	0.5	8	5	6月14日	2.0	11.8
【平成17年度】									
ゴールドラッシュ	90	164	457	1.2	0	0	6月10日	2.3	10.5
恵味ゴールド	85	168	484	1.8	0	0	6月15日	1.8	9.7
TE - 672	85	156	441	1.5	0	0	6月11日	1.9	10.0
K3 - 108	98	149	478	1.3	0	0	6月13日	2.2	10.2
きろろ83	88	164	485	1.6	0	0	6月12日	1.5	9.7
きみひめ	93	155	404	0.5	5	0	6月12日	2.2	9.7
きみか	94	161	391	0.7	0	0	6月10日	2.5	9.6
05Y1355	75	145	441	1.3	0	3	6月12日	2.0	10.1
味来早生130	63	164	452	1.1	3	0	6月12日	2.1	10.0
味来極早生131	96	164	456	1.2	0	3	6月11日	1.9	9.1
味来390(標) <sup>w)</sup>	79	177	408	1.0	5	0	6月13日	2.0	9.7
甘々娘(参) <sup>v)</sup>	95	149	407	1.0	0	3	6月12日	2.2	10.8

z) 雌穂の先端部が扁平となる症状

y) 試験場職員16~27名が、ゆでたものを、「味来390」を対照として3段階(1:劣る 2:同じ 3:優れる)で評価

x) 甘味度 = フルクトース含量(g/100gFW) × 1.2 + ソルビトール含量(g/100gFW) × 0.6 +  
グルコース含量(g/100gFW) × 0.6 + スクロース含量(g/100gFW)

w) 標準品種: 供試品種の比較対照の基準になる品種

v) 参考品種: 供試品種の比較対照の参考となる品種

(耕種概要)

平成16年度 播種日: 3月8日 施肥量(N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O): 2.8-2.5-2.5kg/a 栽植密度: 513株/a

平成17年度 播種日: 3月7日 施肥量(N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O): 2.5-2.2-2.2kg/a 栽植密度: 494株/a

[ その他 ]

研究課題名: 早出しスイートコーンの優良品種選定

予算区分: 県単

研究期間: 2004~2005年度

研究担当者: 對木啓介、竹丘守、赤池一彦、五味亜矢子、宮川芳樹

発表論文等: なし